

2003年11月20日  
株式会社ガリアプラス

## 国内初の、代表者個人保証のない売掛債権担保融資「RBL」 の取扱い開始について

### 【代表者個人保証のない中小企業向け事業融資の取扱い開始】

株式会社ガリアプラス（代表取締役社長 三浦康彦 ベルシステム24グループ、本社：横浜市、URL <http://www.galliaplus.com>）は、主力金融商品である売掛債権担保融資「RBL」（注1）における代表者個人保証条件を、平成15年11月下旬以降の契約分から全面的に廃止します。このRBLでは、すでに第三者個人保証条件を廃止しているため、当社は、国内初となる個人保証のない中小企業向け融資の取扱いを実現しました。

従来の中小企業向け事業融資における「代表者個人保証」は、中小企業の積極的事業展開を阻害したり、事業再生の早期着手を遅らせ事業価値を毀損させるなどの弊害が指摘されています。また金融機関側では、非課税償却ができないため、不良債権の整理を遅らせてしまうなどの弊害も見受けられます。一方、代表者個人保証条件の廃止については国内の中小企業活性化支援の観点から、非常に大きな課題となっていました。そのような環境において当社は、独自の売掛債権担保融資システム（注2）の活用で、他の金融機関に先駆けて中小企業向け融資における個人保証の廃止を可能としました。

これにより、RBLのご利用可能な中小企業の経営者は、個人的負債の重圧から開放され、積極的に事業展開を進めることができ、また、事業再生の早期着手にも対応し易くなります。

注1：「RBL」は、「Receivables Backed Loan」の略称であり、ガリアプラスの登録商標です。

注2：ガリアプラスは、「売掛債権担保融資システム」について、平成15年3月に特許を取得しています。（特許第3407801号）

### 【独自の売掛債権担保融資システムを活用して信用状況を把握】

中小企業融資における代表者個人保証および第三者個人保証の必要性については、「企業の信用補完」や「経営に対する規律付け」また「経営責任の明確化」等の機能があるためとされています。これは、中小企業の経営者と資産・資本が十分に分離されていないことや、財務諸表の信頼性が不十分であることなどに起因するものであり、当該企業の事業実態やキャッシュフローをモニタリングしない従来の与信方法のもとでは、廃止が困難とされているものです。

ガリアプラスは2000年10月に、国内で初めて中小企業に対する売掛債権担保融資を事業化した、同金融サービスのパイオニア企業です。当社の与信方法では、中小企業の決算書分析による業容把握や、売掛債権の内容のモニタリングによる業況推移の把握などを行うことから、融資先に対する継続的与信判断に必要な情報が得られること、また売掛債権担保が有効に機能することをこれまでのRBLの実績から確認し、代表者個人保証の廃止を決定いたしました。

当社では、今回の新たに取り扱いを開始する代表者および第三者個人保証のないRBLを、首都圏エリアの売上高3億円から50億円の中小企業、約8万社を対象に、提供していく計画です。

#### 【ガリアプラス売掛債権担保融資の概要】

商品名称： RBL  
融資金額： 1000万円から5000万円  
金利： 8.6%から15.0%（実質年率）  
期間： 5年  
資金用途： 運転資金  
担保： 売掛債権  
代表者個人保証： なし  
第三者個人保証： なし

#### 【ガリアプラスの概要】

企業名： 株式会社ガリアプラス  
所在地： 横浜市港北区新横浜2-7-17 KAKIYAビル  
代表者： 三浦康彦 代表取締役社長  
設立： 1995年9月  
資本金： 4億25百万円  
主要株主： 株式会社ベルシステム24

#### 【本件に対するお問合せ先】

株式会社ガリアプラス

経営企画室長 田中丸 修一 TEL： 045-478-1101

以上